

# SAFETY FIRST

藤沢労働基準監督署（署長 松下秀巳）は、神奈川労務安全衛生協会藤沢支部が開催する安全勉強会に参加し、安全衛生活動の取り組みの確認、意見交換を行いました。

開催年月	2025年 6月
開催場所	いすゞ自動車株式会社藤沢工場（藤沢支部 支部長事業場）
署参加者	署長、副署長、安全衛生課長、労災課職員



この安全勉強会では、いすゞ自動車(株)藤沢工場にて製造されているトラックが、鋼板整形から車両完成、走行するまでの一連の工程を中心に確認しました。

一連の工程は敷地内の4つの工場（キャビン製造工程、トランスミッション製造工程、アクスル製造工程、キャビン艀装工程）で行われ、各工場で数多くの安全衛生活動が行われています。そのうちいくつかの取り組みを下記に掲載します。

## I 熱中症対策

- ① 空気を強制圧送させるベストの着用

**GOOD** 電源を装着しないため塗装ブース内でも使用可  
安定した冷着感を確保

- ② フォークリフトのスポットクーラー

**GOOD** 運転席に設置し運転者へ冷風を送気

- ③ 大型換気装置の設置

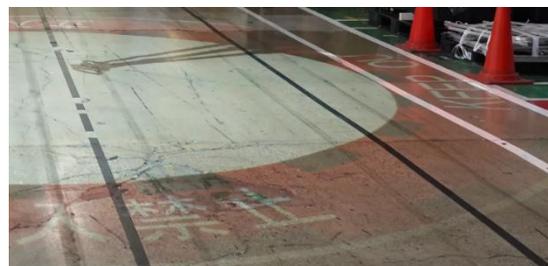
**GOOD** 循環効果向上、工場内の熱気の滞留を防止



## II 見える化

- ① 天井クレーンのつり荷の下の光線

**GOOD** ライトによる危険範囲の可視化



② 保護・職域・進捗

**GOOD** 職域別の「保護帽」、鋭利な鋼材を取り扱う者を守る「作業着」の色  
(その日の) 計画・累計・残業時間を示すデジタル掲示

③ 錠置場

**GOOD** セーフティロック置場にて氏名を掲示し、  
使用状況を全ての関係者に周知



④ 「今日来た身体で家まで帰ろう」

**GOOD** 工場内にて横断幕が散見されました。明瞭です。



「守ってくれてありがとう」

**GOOD** 大事です。

### III 安全意識の高揚

「いすゞ自動車で起きた重大災害を忘れない、風化させない。そして安全第一であり続ける」をテーマとした安全伝承館という施設が工場敷地内にあります。

安全伝承館内では

- ・起きたことの実情を伝える動画の視聴
- ・重大災害の再現動画の視聴
- ・未来へ向かう本質安全化メッセージ動画の視聴
- ・入場者の安全宣言（「安全の誓い」カードの作成）、カードを「誓いのポスト」へ投函
- ・「安全第一」「全員で全員の安全を保つ」と示された安全の門を最後に通過します。



**GOOD** 過去に発生した災害を再認識し二度と起こさない思い。



そのほか、塗装や溶接等の有害業務を行う産業用ロボット、AGV（無人搬送車）の効果的な利用、機械装置の本質安全化、フォークリフトの安全対策、組立作業者の負担軽減、保護具の管理、教育道場、安全の日の設定 などの取り組みを確認しました。

また、管理者の方々から「ルールを守る」風土、仕組み、重要性の発言がありました。

神奈川労務安全衛生協会藤沢支部関係者の皆様、いすゞ自動車(株)藤沢工場関係者の皆様おつかれさまでした。